

前回委員会（10/27 第6回）における委員意見と対応案

【資料2】

No.	委員	大項目	中項目	小項目	前回資料のページ	今回資料のページ	前回資料の記載	意見	今回資料での対応案
1	見城委員	基本施策3	3-2	①	21	23	“コミュニティセンター等の公共施設におけるWi-Fi整備を進めるとともに、～”	【修正案】 “コミュニティセンター等の公共施設におけるWi-Fiやオンライン会議の環境整備を進めるとともに、～”	No.5を参照。
2	見城委員	基本施策3	3-2	①②③	21	23	「オンラインツール」	「オンラインツール」という言葉は漠然としていて分かりにくい。「オンライン会議ツール」などと具体化してはどうか。	「オンラインツール」という言葉はあいまいであるため、一般的な用語として、「ICT」という言葉に変更しました。「ICT」は広い概念であるため、具体例を例示することを検討します。
3	市川委員	基本施策3	3-1 3-2		20 21	22 23	3-2①“コミュニティセンター等の公共施設～”	プレイスやコミセンだけでなく、市民会館や公会堂、スイングホール等施設も含まれるのではないかと。市民活動が狭い範囲で捉えられてしまいかねないので、広い範囲をイメージできるような書き方が望ましい。	No.8を参照。
4	渡邊委員	基本施策3	3-2	②	21	23	“オンラインツール初心者に対する技術指導が可能な体制の整備を図ります”	技術指導が可能な団体を支援していく体制という意味合いでよいか。	No.6ご参照。
5	朝岡委員長	基本施策3	3-2	①	21	23	“コミュニティセンター等の公共施設におけるWi-Fi整備を進めるとともに、～”	【修正案】 “すべての公共施設におけるWi-Fi整備を進めるとともに、～”	ご指摘を踏まえ以下のとおり修正。 “すべての公共施設における通信環境(Wi-Fi)の整備を進めます。”
6	朝岡委員長	基本施策3	3-2	②	21	23	“～オンラインツールの利活用が可能な人材の育成を推進します。オンラインツール初心者に対する技術指導が可能な体制の整備を図ります。”	シンプルに表現してはどうか。誰一人取り残さないというSDGsの考え方にもつながる。 【修正案】 “すべての市民がWi-Fi環境を効果的に使えるような体制の整備を図ります”	ご提案を踏まえ、一部追記して修正。
7	森副委員長	基本施策3	3-1	③	20	22	“コミュニティセンター等の市民活動の拠点施設におけるコーディネート機能の向上に向けた取組みを進めます。”	タイトルが「武蔵野プレイス等の～」なのに、ここはコミセンが主語になっているので違和感がある。	武蔵野プレイスを追記。
8	朝岡委員長	基本施策3	3-1		20	22	タイトル “武蔵野プレイス等の活動拠点施設の機能充実”	【修正案】 “武蔵野プレイス及びコミュニティセンター等の活動拠点施設の機能充実”	ご提案の修正案のとおり修正。
9	朝岡委員長	基本施策3	3-1	③	20	22	“プロボノ等、さまざまな技能をもつ外部人材について～”	「プロボノ」はあえて書かなくてもよいと思う。	削除。
10	市川委員	基本施策3	3-1		20	22	「市民活動の拠点」	ワーキングチームの資料に「市民活動という言葉自体にハードルがある」との意見があることを踏まえて、「コミュニティ活動の拠点」としてはどうか。	いったん保留とし、今後継続して検討。
11	朝岡委員長	基本施策1	1-2	②	17	19	「ソーシャルメディアの有効活用」	「有効」は不要ではないか。	削除。
12	森副委員長	基本施策1	リード文		16	18	“市民活動への関心が低い、または普段の関わりが薄い人々～”	あたかもそれがいけないかのような表現で、配慮が必要。客観的な課題を示す表現のほうが望ましい。	No.12を参照。
13	朝岡委員長	基本施策1	リード文		16	18	“市民活動への関心が低い、または普段の関わりが薄い人々を主な対象として、市民活動に対する理解や関心の向上を図ります”	市民全員が市民活動に関心を持たなければならないわけではなく、深く関わる必要もないので「市民活動への関心が低い」「普段の関わりが薄い」という文言は不要。 【修正案】 “すべての市民が市民活動に最初の一步を踏み出すきっかけをつくるため、市民活動に対する理解や関心の向上を図ります”	ご提案の修正案のとおり修正。
14	森副委員長	基本施策1	1-1	リード文	16	18	“市民活動への関わりが少ない市民に対して関心を促し～”	この記載は不要ではないか。 →委員長提案“すべての市民に対して関心を促し～”	ご提案の修正案のとおり修正。

No.	委員	大項目	中項目	小項目	前回資料のページ	今回資料のページ	前回資料の記載	意見	今回資料での対応案
15	朝岡委員長	基本施策2	2-1	リード文	18	20	「公共的」	市民活動の基本として、「公益的」のほうが適切ではないか。	「公益的」に修正。
16	北川委員	基本施策2	2-3	①	19	21	“クラウドファンディングの手数料補助や情報提供等の支援を行います。”	計画に載せるうえでは、クラウドファンディングという具体的な名称は入れないほうがよいと思う。	No.18を参照。
17	市川委員	基本施策2	2-3	①	19	21	“クラウドファンディングの手数料補助や情報提供等の支援を行います。”	クラウドファンディングの記載が具体的すぎるので削除してよいと思う。	No.18を参照。
18	朝岡委員長	基本施策2	2-3	①	19	21	“クラウドファンディングの手数料補助や情報提供等の支援を行います。”	クラウドファンディングの記載を削除するのみでは財政支援が受けられなくなる危険があるので、以下の案ではいかかがか。 【修正案】 “資金調達に資する取組みを促進するための財政支援や情報提供等の支援を行います”	ご提案の修正案のとおり修正。
19	森副委員長	基本施策2	タイトル	リード文	18	20	“「市民活動の自律性・発展性・持続性の向上」市民活動をより活性化し、自律性を高め、成長・発展を促し、将来にわたり持続可能なものとしていくため、～”	一時的な活動や継続的な活動など、多様な活動がある。リード文の1行目は不要ではないか。	ご指摘のとおり修正。
20	見城委員	基本施策2	タイトル		18	20	「市民活動の自律性・発展性・持続性の向上」	固いので柔らかい感じにしてください。「この指とまれ」方式の市民活動も視野に入れる必要がある。 【修正案】 「市民活動を活性化するための環境整備」	No.21を参照。
21	朝岡委員長	基本施策2	タイトル		18	20	「市民活動の自律性・発展性・持続性の向上」	他の基本施策の名称とのバランスを考えつつ、特定の形の活動だけを支援するのではないという意図で「多様性」というキーワードを入れておきたい。 【修正案】 「多様な市民活動を支援する施策の充実」	ご提案の修正案のとおり修正。
22	朝岡委員長	基本施策4	タイトル		22	24	「連携と協働の推進」	主語を補うべき。 【修正案】 「多様な主体による連携と協働の推進」	ご提案の修正案のとおり修正。
23	朝岡委員長	基本施策4	リード文		22	24	“武蔵野プレイスのほか～”	この記載は不要ではないか。	削除。
24	市川委員	基本施策4	4-2	①	23	25	“コミュニティ協議会との協働による「地域フォーラム」の活用や～”	「地域フォーラム」が唐突で具体的すぎるのではないか。	削除。
25	北川委員	基本施策4	4-1	②	22	24	「市民活動団体」、「団体」という表記	団体単位ではなく個人レベルでの市民活動への参加が流れとしてある。個人も含めた記載にすべき。	「市民」を追記。
26	北川委員	その他	市民活動の主体			-		「これから市民活動を始めようと思っている方」「既に始めていて継続・発展を考えている方」、「参加者」の3者の視点を入れる必要がある。どの立場の人も参加しやすい形にするにはどうすればよいかと考えている。	今後継続して検討。
27	朝岡委員長	その他	再掲の扱い			全体		「再掲」の項目は、記載は不要ではないか。原則、一度記載した項目を繰り返して記載する必要はない。	ご指摘のとおり修正。
28	見城委員	その他	市民活動、協働の考え方			6 9 10		本計画は行政と市民との協働が前提だが、行政の補完的な役割を市民活動が果たすというニュアンスを含んでいる気がする。しかし、市民活動はもう少し広がりがあるものとして捉えた方がよい。公益性はあまりなくても結果としてコミュニティの活性化につながるような活動も市民活動に含めることができればよい。その意味で市民活動の定義を整理する必要がある。連携、協働の意味についても議論したい。	11/12第7回委員会の資料(素案)で記載。
29	朝岡委員	その他	協働の考え方			9 10		市民が主体的に活動できる環境を行政が積極的に整備するというスタンスが望ましい。行政が主体というイメージでない方がよい。市民活動とコミュニティ活動の違いや使い分けと併せ、連携と協働の考え方や内容についても議論したい。	11/12第7回委員会の資料(素案)で記載。
30	町田委員	その他	市民活動の考え方			6		現行計画ではコミュニティ活動も個人の活動も含めて市民活動だとされているため、あらためて概念を整理するべき。	11/12第7回委員会の資料(素案)で記載。